

へいせい ねんど  
平成28年度

がっこうひょうか し  
学校評価のお知らせ



ながぼんでん きそう せいとかいしっこうぶ めい  
長半纏の寄贈（生徒会執行部3名）  
むらやま さま  
村山ライオンズクラブ様 より  
へいせい ねん がつ か か  
平成29年1月24日（火）



こころ はぐく がっこうきゅうしょくしゅうかん  
心を育む学校給食週間  
やまがた むか たいいくかん こうりゅう  
「モンテディオ山形」を迎えて（体育館での交流）  
へいせい ねん がつ にち きん  
平成28年12月16日（金）

やまがたけんりつたておかとくべつしえんがっこう  
山形県立楯岡特別支援学校

## 平成28年度 学校評価アンケートの結果と改善策

山形県立楯岡特別支援学校  
学校評価委員会

### 1 平成28年度学校評価アンケートの実施について

#### (1) 学校関係者評価（保護者アンケート）の実施

保護者アンケートは、記入していただいたアンケート用紙に封をしてご提出いただき、学校評価委員（3名）が直接開封し集計を行った。

(2) アンケート項目については、昨年度に見直しを行ったので、経年における変動が読み取れるように、これまで同様の内容とした。

(3) アンケート結果をもとに、校長を含めた学校評価委員会で、29年度に向けての考察と改善策を提案し学校運営に生かせるようにした。

(4) 学校自己評価（教職員アンケート）も同様の方法で実施した。

(5) 結果は保護者にお知らせするとともに、学校評議員会でも報告し、助言を受けるようにした。

### 2 学校関係者評価（学校生活保護者アンケート） <別紙集計結果参照>

#### (1) 考察

① 回答率は昨年95%であったが、保護者への依頼文書に加え、締切前に担任が改めて呼びかけたことなどもあり、100%の回答となった。

② 4（よく当てはまる）と3（やや当てはまる）の段階を合わせた割合が、昨年度同様、10項目中9項目が90%以上を占めており、全体的に良好である。

③ 昨年度同様、どの項目も平均値で±0.1未満程度の変化で、概ね横ばいの状況にある。

④ [6] の項目以外、全ての平均値が昨年度を上回った。特に、[2]・[3]・[4]・[8]・[10]が伸びている。  
[2]・[3]・[4] は、学級通信・連絡帳・電話対応等、担任と各家庭との連絡等が良かったと考えられる。  
[8] は体育館・プールの学習が十分に実施されたと考えられる。[10] の地域への発信は、昨年度より向上しているが、10項目の中で一番低い状況が続いている。

⑤ [6] 「進路関係」については、進路学習会を学校主催で行うなど保護者への理解啓発に努めてきたが、「進路の手引き」発行が昨年度より遅れたことも影響していると考えられる。

#### (2) 改善策

① [6] について： 進路部が中心となって、「進路の手引き」の早期作成・配付を行い、有効活用できるようにしていく。

② [10] について： ホームページを充実（定期更新）するとともに、メディア等の活用、各市町や関係機関への情報発信を積極的に行う。発信のための媒体の周知も必要である。

③ 記述によりいただいたご意見の中で、教育活動に関わる内容については教員全体で確認し、改善していけるものは改善を図っていく。学校経営計画に反映し、今後ともPTA全体・学部・学級での活動の際、取り組みの状況を具体的に説明する。

### 3 学校自己評価（教職員アンケート） <別紙集計結果参照>

#### (1) 考察

- ① 平均値が 3.0 を下回った項目（27・28 年度の両方または一方）は下表のとおりであったが、僅かずつ改善の傾向にあるものがほとんどであった。（△印 は昨年より数値が上がったもの）

番号	設問内容	28年度 平均値	27年度 平均値
3	児童生徒が十分に活動し、達成感の持てる授業が実践できている。(個)	3.00	2.98
6	個別の教育支援計画及び個別の指導計画について見直しを行い指導に活用している。(個)	2.98	2.87
7	小・中・高で児童生徒理解を共有し、一貫した指導ができている。(全)	2.60	2.46
10	児童生徒の実態に応じたキャリア教育や進路先の決定ができている。(個)	△ 2.81	2.91
11	卒業後の進路に関連する情報を収集し、保護者への提供に努めている。(個)	△ 2.70	2.87
20	学校や本校児童生徒の理解のための地域社会への情報発信がなされている。(全)	2.91	2.83
22	村山産業高校、医療、福祉、労働等の関係機関と連携が適切に行われている。(全)	△ 2.93	3.13
25	校務の分担が適正に行われ、協働体制ができている。(全)	△ 2.81	2.87
30	多忙感や負担感の解消に向けた取り組みがなされている。(全)	△ 2.59	2.79

#### (2) 改善策

- ① **3**・**6** について： 昨年度に比べ、Aの%が昨年度より増えた結果、若干の伸びが見られたが、今後とも児童生徒の実態把握に基づいた授業づくりを学校研究と関連させ、日々の授業のより一層の充実を図っていく。
- ② **7** について： 児童生徒の実態や各学部の実践、成果と課題などを共有できるよう主任会や職員会議を機能させると共に、合同活動、学部間の交流活動、個別の教育支援計画での連携をより一層模索する。
- ③ **10**・**11** について： どちらも昨年度比マイナスとなった。（保護者アンケートも同様の結果となっている。）進路学習の手引きの作成時期を早めて有効活用を図ると共に、文部科学省委託事業「キャリア教育・就職支援等の充実事業」の取り組み状況を定期的に発信し、校内での情報共有を進める。
- ④ **20** について： 昨年度よりやや改善が見られるが、保護者の評価でも一番低い平均点となっている。対応策としては、学校関係者評価 (**10**) の改善策と同様に、外部への「見える化」を図る。
- ⑤ **25** について： 校務の分担にあたっては職員の希望も加味しながら命課しているが、校務組織によって業務内容・業務量に差があるのも事実である。教員の適切な校務分担については、今後とも各職員の希望を受けるとともに、学校経営への貢献度の視点も大切にし、業務内容の見直し・職員の専門性を加味した適材適所・組織機能の維持向上という観点から最大限配慮していく。
- ⑥ **30** について： 昨年度に比べマイナスとなった。ゆとり創造に向けた学校全体の取り組みや各学部の成果と課題を基に、より効果的な方策を継続して検討して実施していきたい。（情報機器や電子メールの活用、グループウェアによる全体周知の効率化、職員朝礼の運営の工夫、会議の精選と学級経営・事務・教材研究日の設定、行事・教育課程の精選、やらされ感から主体的な取り組みによる充実感・満足感の向上による多忙感に対する意識改革等）

#### 4 学校評議員会での学校評価及び学校運営に対する意見

- ・ 地域支援に関して、村山産業高等学校でも要請に対する精選を図っている。全ての要望に応えられない。楯特校との交流はもう少しできるのではと思っている。交流時の生徒の様子が生き生きとしていて役に立っていると確信している。交流の担当が継続すれば良くなっていくと思うが、授業との兼ね合いもあり、要望に応えられていない。楯特の販売会は、事前の分担指導のもとに生徒同士の関わりができている。中学部の生徒が本校にて販売してくれた正月リースは、自宅で活用している。
- ・ リースづくりに関し、おひなさまのつるしもできるのではないか。布地が古風で素敵です。
- ・ リースは、季節に応じるグッズをつけると、売れると思う。完成度は高い。
- ・ 英字新聞の紙袋も工夫されている。りんごを入れて知人にあげている。
- ・ 紙袋を丈夫にする方法として、千代紙を貼るのも良い。
- ・ 高等部3年生は20名と多いが、一般就労8名はすばらしい。実習先を確保し、10月に求職登録など保護者に御足労かけることになるが、職業評価で適正判断は大事になってくる。フルタイム勤務は、全部はないが、まずは、短時間から少しずつ増やして契約社員としてステップアップして欲しい。
- ・ これまでのピースでの実習は、仕事に慣れることに重きを置いてきたが、今見直しをしている。具体的には生徒自身が目標を立て、ここでどんな力を育てたいのかを大切にしたいと考えた。例えば、報告ができるなど、クリアできる目標にする。コミュニケーションが図れるよう支援者を固定したり、報告時間を明確にしたりしている。2日目から言うようになり、表情が明るくなった。情報交換しながら継続していきたい。ピース東根の向かいに看護師配置のサービス事業所（ピース大林）を設置する方向である。
- ・ 普段の生活態度、コミュニケーション能力を大事にしていくとかわいがられる生徒に育つ。新卒者は育てやすい。
- ・ 学校を知らない人もいるので、市報に載せるなど学校をアピールしたい。希望しても載らないが、甕葉プラザは率先して載せてくれる。たてとく祭は宣伝してくれると思うので、ピーアールするのも良いと思う。中学部の作品を高等部と一緒に販売できないのかということも考えている。
- ・ 販売会で買ってくれる人がいるので、外部販売するのも一つの方法だと思う。口伝えで広めていくのも一つの方法だと思う。
- ・ 低い評価へのアイデアとして、一般の保護者目線では外向きに何をしているのか分からない。3.5点の評価にするより3点ぐらいで良いので他に力を入れた方が良いのではないかと。地域よりは自分の子どもの授業への喜びが大きいと思う。
- ・ 雪の中、バス待ちをしている生徒を見て、かわいそうという声をいただいた。心強いし、ありがたいと感じる。昔は隠したい気持ちがあったが、知ってもらふメリットはある。
- ・ 村山市は特別支援学校があり、A型事業所があり、あとは、グループホームあればトータルでそろわないのではないかと。
- ・ 村山市以外の市町に住むと、村山のことはわからない。地域（居住地）の違いを感じる。

平成28年度 学校生活保護者アンケートの集計結果

番号	設問	グラフ	%				28年度 平均	27年度 平均
			4段階	3段階	2段階	1段階		
1	お子さんは、学校に行くことを楽しく思っている。		69.9%	27.2%	2.9%	0.0%	<b>3.67</b>	3.65
2	学校や学級担任はお子さんの教育について、よく話を聞いてくれる。		66.0%	31.1%	2.9%	0.0%	<b>3.63</b>	3.57
3	学校や学級担任は、お子さんの学校での様子をよく伝えてくれる。		67.0%	25.2%	5.8%	1.9%	<b>3.57</b>	3.51
4	学習の足跡の掲示や参観の機会などが確保され、児童生徒の学習の様子が見える。		54.4%	40.8%	4.9%	1.0%	<b>3.50</b>	3.42
5	お子さんにとって、適切な学習目標や内容の「わかる」授業が工夫されている。		44.7%	48.5%	5.8%	1.0%	<b>3.37</b>	3.35
6	学校は、お子さんや保護者の願いに耳を傾け、進路希望の実現や進路情報の提供に努めている。		50.5%	40.8%	8.7%	0.0%	<b>3.42</b>	3.51
7	清掃や施設設備の整備がなされ、明るく機能的な学校環境になっている。		69.9%	28.2%	1.9%	0.0%	<b>3.68</b>	3.63
8	学校生活の安全が確保され、適切な健康管理・給食指導がなされている。		66.0%	31.1%	2.9%	0.0%	<b>3.63</b>	3.54
9	お子さんにとって意義のある学校行事の企画・運営がなされている。		52.4%	40.8%	5.8%	1.0%	<b>3.45</b>	3.42
10	本校の教育活動や児童生徒の活躍等について、地域に発信が来ている。		35.3%	45.1%	17.6%	2.0%	<b>3.14</b>	3.01
						<b>3.50</b>	3.46	

※1 アンケートの実施期間は、平成28年10月26日（水）から11月4日（金）まででした。

※2 10の質問項目に対し、4段階で評価していただきました。

（ 4:よく当てはまる 3:やや当てはまる 2:あまり当てはまらない 1:当てはまらない ）

※3 アンケートの回収件数は、103件（=家庭数）でした。

## 平成28年度 学校生活保護者アンケート（「その他」の自由記述）から

アンケート御依頼時にお知らせしたとおり、保護者の方々の貴重なご意見ですので、原文のまますべて記載させていただきました。可能なかぎり改善に役立てていきたいと考えています。

### 【小学部】

- 1 担任の先生方はじめ子どもに関係のある先生方の共通理解がされていて、年々成長しているのが分かります。先生方の努力には感謝しかありません。
- 2 楽しみに学校に行っています。
- 3 今までできていた学習は、続けてさせてほしいです。
- 4 運動、体を動かす時間をもっと作ってほしい。朝マラソンやストレッチなど。放課後もクラブ活動の様なもので、15分でもいいので、サッカーとまではいかななくても走ってボールをゴールに入れたり、野球ならバットにボールを当てたり。マット運動、なわとびなど。  
また、国語、算数などの教科を作ってほしい。国語、名前書き、文字書き、名前をいろんなところに貼って同じ物をさがしたりすることで名詞を覚えられる。算数、数字書き、並ぶもこめて。前から何番目、後から何番目、上から何番目、下から何番目、時計の見方、お金（買い物やお店の人との関わり方）など。  
言語聴覚などいろんな専門の先生とも連携を取って欲しい。
- 5 廊下が寒い。また、給食がおいしくなかったもので、学校に調理室を作って温かくておいしい給食を提供してもらいたいです。支援学校ですし、もっと気を使っていたきたい。
- 6 地域に情報発信とあるが、具体的にどのような方法でしているか分からない。

### 【中学部】

- 1 子どもが楽しく、そして頑張っているいろいろな面を行うことができる配慮などありがとうございます。
- 2 人数も増え、大変かと思いますが、PTAの皆様と協力して運営していきましょう。よろしくお願いします。
- 3 先生には、保護者からの子どもの支援の希望や相談をいつも聞いていただきまして、ありがとうございます。担任の先生をはじめ、他のクラス、学年の先生と子ども達の支援に中学部全体で取り組んでいただいていると感じています。
- 4 毎日、ありがとうございます。
- 5 学年行事、親子行事など重複学級も一緒に活動できればと思います。同じ学年なのにいつも別の活動になってしまうこととても残念です。
- 6 修学旅行は週の終わりに行ってください。子どもたちはとても疲れて帰ってきます。子どもたちに急に学校を休まれると、仕事も休まなければなりません。大変でした。

### 【高等部】

- 1 担任の先生はじめ作業班の先生も、熱心に関わりをもってください、感謝しています。
- 2 中学部、高等部と6年間お世話になり、先生方が子どもたちのためにと、よくよく考えてくださっていることがわかります。学校生活もあと残り少しです。今後も、よろしくお願いします。
- 3 行事等で学校に行かなければならない時を利用して、もっと進路や法的制度、体験談などの学習会を設けてほしい。
- 4 設問10の地域への情報発信とは具体的に何をしているのですか？
- 5 問10に関して、実際どの位のことを発信しているのか、父兄としてわかりません。ただ、世の中が少々不安なことが多いので、情報を発信すればよいものでもないとは思いますが。村山市の市報などで、「たてとく祭」販売会のお知らせを載せてもらうことなどはいかがでしょうか。

平成28年度 学校評価 教職員アンケートの集計結果

項目	質問内容	4	3	2	1	計	4 (%)	3 (%)	2 (%)	1 (%)	H28年度 評価	H27年度 評価
1 教育内容の充実	1) 学校教育目標や方針を意識し、具体的な取り組みにつなげている。(個)	7	43	5	0	55	12.7	78.2	9.1	0.0	<b>304</b>	3.04
	2) 児童生徒の実態に応じた目標や学習内容になっている。(個)	15	38	1	0	54	27.8	70.4	1.9	0.0	<b>326</b>	3.17
	3) 児童生徒が十分に活動し、達成感の持てる授業が実践できている。(個)	6	42	6	0	54	11.1	77.8	11.1	0.0	<b>300</b>	2.98
2 教育計画及び指導方法	4) 児童生徒の実態や障がい特性を踏まえ、指導方法を工夫している。(個)	19	33	2	0	54	35.2	61.1	3.7	0.0	<b>331</b>	3.25
	5) TTの授業では、役割分担を明確にして実施している。(個)	11	39	4	0	54	20.4	72.2	7.4	0.0	<b>313</b>	3.17
	6) 個別の教育支援計画及び個別の指導計画について見直しを行い指導に活用している。(個)	7	39	6	1	53	13.2	73.6	11.3	1.9	<b>298</b>	2.87
3 小・中・高・舎の一貫教育	7) 小・中・高の児童生徒理解や教育課程で一貫性のある指導ができています。(全)	3	27	25	0	55	5.5	49.1	45.5	0.0	<b>260</b>	2.46
4 保護者との連携	8) 保護者の悩みや相談事に丁寧に耳を傾け、学習や生活上の課題を共有できている。(個)	23	32	0	0	55	41.8	58.2	0.0	0.0	<b>342</b>	3.38
	9) 保護者の意向を個別の教育支援計画や個別の指導計画に生かし、授業等に反映させている。(個)	17	33	3	1	54	31.5	61.1	5.6	1.9	<b>322</b>	3.26
5 進路指導	10) 児童生徒の実態に応じたキャリア教育や進路先の決定ができています。(個)	6	33	14	1	54	11.1	61.1	25.9	1.9	<b>281</b>	2.91
	11) 卒業後の進路に関する情報を収集し、保護者への提供に努めている。(個)	5	30	17	2	54	9.3	55.6	31.5	3.7	<b>270</b>	2.87
6 保健安全指導と危機管理	12) 健康と安全についての指導を計画的に行っている。(個)	12	34	9	0	55	21.8	61.8	16.4	0.0	<b>305</b>	3.02
	13) 児童生徒の障がいや疾病等について、養護教諭または関係医療機関と連携して対応している。(個)	16	29	9	0	54	29.6	53.7	16.7	0.0	<b>389</b>	3.04
	14) 日常の食育指導を適切に行っている。(個)	13	38	3	1	55	23.6	69.1	5.5	1.8	<b>315</b>	3.08
	15) 教室及び学習環境等の整理整頓を意識して行っている。(個)	17	34	4	0	55	30.9	61.8	7.3	0.0	<b>324</b>	3.15
	16) 危機管理及び災害避難訓練が適切に行われている。(全) ※H26は、増築等に関する項目。	17	36	3	0	56	30.4	64.3	5.4	0.0	<b>325</b>	3.23
7 生徒指導	17) 児童生徒の生徒指導上の課題を把握し、指導の手立てを講じている。(個)	15	34	5	0	54	27.8	63.0	9.3	0.0	<b>319</b>	3.17
8 専門性の向上	18) 学校研究及び自己研修に課題意識を持ち取り組んでいる。(個)	15	31	7	0	53	28.3	58.5	13.2	0.0	<b>315</b>	3.06
	19) 地域に対し、特別支援教育のセンター的機能を果たしている。(全)	17	39	2	0	58	29.3	67.2	3.4	0.0	<b>326</b>	3.29
9 開かれた学校づくり 交流教育 関係機関連携	20) 学校や本校児童生徒の理解のための地域社会への情報発信がなされている。(全)	6	40	9	1	56	10.7	71.4	16.1	1.8	<b>291</b>	2.83
	21) 交流教育が適切に実施されている。(全)	8	42	6	0	56	14.3	75.0	10.7	0.0	<b>304</b>	3.10
	22) 村山産業高校、医療、福祉、労働等の関係機関と連携が適切に行われている。(全)	6	42	10	0	58	10.3	72.4	17.2	0.0	<b>293</b>	3.13
11 学校運営	23) 学校運営に校長のリーダーシップが発揮されている。(全)	33	23	3	0	59	55.9	39.0	5.1	0.0	<b>351</b>	3.24
	24) 学校運営に教職員の意見が反映されている。(全)	11	38	10	0	59	18.6	64.4	16.9	0.0	<b>302</b>	3.04
	25) 校務の分担が適切に行われ、協働体制ができています。(全)	7	34	18	0	59	11.9	57.6	30.5	0.0	<b>281</b>	2.87
12 組織 諸会議	26) 校務組織が機能的に整備されている。(全)	8	43	7	0	58	13.8	74.1	12.1	0.0	<b>302</b>	3.02
	27) 職員会議及び諸会議の設定が適切であり、機能している。(全)	13	36	9	0	58	22.4	62.1	15.5	0.0	<b>307</b>	3.04
13 服務の意識	28) 日々の教育課題や悩みなどを気軽に相談し合える職場の人間関係ができています。(全)	15	40	3	0	58	25.9	69.0	5.2	0.0	<b>321</b>	3.15
	29) 服務規律を尊重し、事故や不祥事の未然防止について、自分のこととして受け止め努力している。(個)	28	29	1	0	58	48.3	50.0	1.7	0.0	<b>347</b>	3.44
	30) 多忙や負担感の解消に向けた取り組みがなされている。(全)	8	22	26	3	59	13.6	37.3	44.1	5.1	<b>259</b>	2.79
											<b>311</b>	3.07

※1 設問内容の(個)は、教員自身の取り組み状況を、(全)は、学校全体の取り組み状況に対する評価です。

※2 30の質問項目に対し、保護者の方の場合と同様に4段階で評価しました。

(4:よく当てはまる 3:やや当てはまる 2:あまり当てはまらない 1:当てはまらない)